令和５年度(2023 年度)　省エネルギー・新エネルギー関連施策の取組状況

令和６年(2024 年)９月
経済部ゼロカーボン推進局

「北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】」に基づき、省エネルギーの推進や新エネルギーの開発・導入に関する令和５年度(2023 年度)の取組状況を取りまとめた。

１　令和５年度(2023 年度)の主な取組について

（１）需要家の省エネルギー意識の定着と実践

◆　省エネルギーの意識や行動の定着

○　省エネルギー促進総合支援事業（戦略的省エネ促進事業）【経済部】

・　民間事業者や家庭を対象に、省エネ行動の意義や負担軽減効果などの普及啓発を行うため、「北海道省エネ対策！セミナー」を実施。

✔　民間事業者向けセミナー：３回（札幌市 R5.10、苫小牧市 R5.11、旭川市 R5.12）
参加人数：合計 59 人

✔　家庭向けセミナー：３回（札幌市 R5.10、苫小牧市 11/18、旭川市 12/16）
参加人数：合計 107 人

・　電力需要が増える夏季や冬季における節電・省エネの取組を促進する内容のリーフレット、事業者による省エネの取組事例や省エネ効果を掲載したパンフレットを作成・配布。

○　北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞（省エネルギー部門）【経済部】

・　北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例に基づき、省エネルギーの促進と新エネルギーの開発・導入の促進に顕著な功績のあった個人・法人等を対象に、表彰を実施。

✔　大　賞：「古平町複合施設における Nearly ZEB 相当の運用実績達成」（古平町、大成建設㈱札幌支店）

✔　奨励賞：「寒冷地における地域脱炭素を目指した ZEB オフィスの実現」（㈱竹中工務店北海道支店）

○　脱炭素社会に向けた行動変容促進事業【経済部】

・　運輸部門の温室効果ガス削減のため、市町村や民間企業と連携して、ナッジ等を活用した公共交通の利用を促す情報発信の効果検証を行ったほか、ナッジ活用事例集を作成。

✔　ナッジ等を活用した情報発信及び効果検証：１件

✔　ナッジ活用事例集の作成

○　３Ｒ連携推進事業【環境生活部】

・　道内で製造加工された一定の基準を満たすリサイクル製品を「北海道認定リサイクル製品」として認定するとともに、そのうち、道内で開発した技術を用いた北海道らしい優れた製品を北海道リサイクルブランドとして認定。

・　廃棄物等の発生・排出抑制、二酸化炭素の排出抑制について優良である事業所を表彰。

✔　北海道認定リサイクル製品　新規認定：14 製品　更新認定：67 製品

✔　北海道リサイクルブランド　更新認定：３製品

✔　北海道ゼロ・エミ大賞　　応募なし

○　おうちで学ぼう！環境学習特設サイト【環境生活部】

・　総合型学習、読み物、クイズ・体験型学習の３種類に内容を整理し、親子で楽しみながら学べるコンテンツを集め、幼児から児童・生徒がおうちで学べる環境学習特設サイトを道のホームペー

ジで公開。

○ CO_2排出量「見える化」事業【経済部】

・ 国との共同事業として、電気、ガス、灯油等の使用量を入力することで、家庭の CO_2 排出量を「見える化」するアプリを作成。

・ 事業者の CO_2 排出量を「見える化」する排出量ボードシステムを作成。

✔ **「北海道ゼロチャレ！家計簿」アプリの公開（R5.7 公開）**

✔ **排出量ボードシステムの公開（R5.4 公開）**

○ ゼロカーボン北海道チャレンジ！【経済部】

・ 「環境の未来ついて考えよう！」などの教育をはじめとした４つの重点プロジェクトを中心に、道民や事業者のライフスタイル・ビジネススタイルの転換に繋がる取組を広く呼びかけ、取組の実践を促進。

✔ **「北海道ゼロチャレ！家計簿」アプリの公開（R5.7）**

✔ **月寒高校での出前授業の実施（札幌市、R5.8～R6.2）**

✔ **高校生の探究活動成果発表会「探究チャレンジ・ジャパン」にて「ゼロカーボン探究賞」を授与（全道大会、R6.2）**

○ ゼロカーボン北海道普及推進事業【経済部】

・ 道民・市町村に対する情報発信等を行うことにより、脱炭素意識の向上と取組推進を図る。

✔ **WEB 広告・学生向け教材動画の作成**

✔ **地域 PR イベントの企画・実施（札幌市・函館市・旭川市・釧路市・帯広市・紋別市）**

✔ **高校生向けバスツアーの実施（石狩市、鹿追町）**

✔ **地球温暖化防止活動推進員（28 名）の派遣（派遣回数：43 回、参加人数：合計 1,821 人）**

✔ **北海道クールアース・デイの取組を実施**

○ 北海道クールあいらんどキャンペーン【経済部】

・ 道内のオフィスや店舗を対象に「通気を良くしてできるだけ冷房に頼らない」、「その日の気温等に合った服装を選択する」など、自然の力を利用しながら快適に過ごす、北海道らしい省エネ型ライフスタイルの実践を呼び掛けるキャンペーンを実施。

✔ **参加登録：3,837 事業所・団体**

・ 道庁内の取組として「ナチュラル・ビズ・スタイル」を実施。

○ 北海道あったまろうキャンペーン【経済部】

・ 道内のオフィスや店舗を対象に「過度な暖房使用を控えながらも暖かい服装などで快適に過ごす」北海道らしい省エネ型ライフスタイルの実践を呼び掛けるキャンペーンを実施。

✔ **参加登録：3,837 事業所・団体**

○ 環境保全対策推進事業【環境生活部】

・ 各（総合）振興局において、省エネ等の取組を通じた環境にやさしいライフスタイルの実践を促すガイアナイトやパネル展の開催など省エネルギーを呼びかける普及啓発の取組を実施。

○ 自転車活用等促進事業【総合政策部】

・ 環境負荷低減などの面で SDGs の推進に資するといった自転車の持つメリットや効果等、普及啓発に係るイベントの開催やチラシの配布。

✔ **イベント「見る！乗る！走る！サイクる体験フェア」（札幌市：R5.8）**

✔ **チラシ　イベント参加者や「もっと、自転車北海道。」のサポーター等へ配布**

○ 様々な機会を活用した普及啓発【経済部】

・ 省エネ・新エネ関連の機器や「省エネ・新エネ促進大賞受賞」企業のパネル、次世代自動車な

どを展示し、省エネや新エネ利活用の取組、次世代自動車などについて普及啓発を実施。

- ✔ 省エネルギー・新エネルギー普及啓発展（札幌市 北海道議会議事堂道民ホール、R5.12）
- ✔ 第 37 回北海道技術・ビジネス交流会 ビジネス EXPO（札幌市 アクセス札幌、R5.11）
  総来場者数：22,942 名
- ✔ 札幌モビリティショー2024（札幌市 札幌ドーム、R6.1）

○ ゼロカーボン北海道推進協議会「省エネルギー・新エネルギー促進部会」【経済部】

・ 「ゼロカーボン北海道推進協議会」の下に設置した「省エネルギー・新エネルギー促進部会」において、省エネルギー及び新エネルギー導入の促進に関する具体的な取組等を検討。

- ✔ 促進部会の開催（R6.2）
- ✔ 令和５年度検討テーマ：カーボンニュートラルに向けた取組等について

○ 「ゼロカーボンひやま」ステップアッププロジェクト【檜山振興局】

・ 檜山地域における脱炭素化を進めるため、脱炭素化への気運醸成や地域プロジェクトの創出など各自治体の取組を支援。

- ✔ ひやまゼロカーボンネットワークを活用した情報の横展開（随時）
- ✔ 先行する地域プロジェクトへの集中的な支援（奥尻町、厚沢部町、せたな町、今金町）
- ✔ 各町再エネ関係導入協議会・検討会等へのオブザーバー参加(随時)
- ✔ SNS「サステナブル北海道檜山」（Twitter・note）のアカウント開設・情報発信（R4.4～）
- ✔ 電気自動車（EV）の普及促進のため、地域イベント等に出展し、利用メリットを周知
  イベント出展回数：８回（江差町４回、乙部町２回、厚沢部町１回、せたな町１回）

○ 十勝ゼロカーボン推進事業【十勝総合振興局】

[とかち「ゼロカーボン」ネットワーク連携・普及促進事業]

・ 十勝地域における脱炭素化を進めるため、自治体・事業者・住民を対象に省エネ行動などの温室効果ガス排出量削減につながる取組について各種普及啓発を行う。

- ✔ 「とかちゼロカーボン通信」の発行
- ✔ とかちゼロカーボン勉強会・セミナー（計３回）

○ 知る・学ぶ・動く ゼロカーボン北海道 in 釧路推進事業【釧路総合振興局】

・ ゼロカーボンへの地域住民等の理解と協力を促し、地域一体となった取組を推進するため、機運醸成を図る啓発活動を実施。

- ✔ パネル展（イオンモール釧路昭和 R5.11.1～30）来場者数約 2,500 名
- ✔ 発信者育成プログラム研修会：３回（釧路総合振興局 R5.8、先進地視察 R5.9、まなぼっと幣舞 R6.2）
  参加者：44 名
- ✔ 出前授業：３回（釧路公立大学 R6.2、釧路町立昆布森小学校 R6.2、釧路センチュリーキャッスルホテル R6.2）
  参加者：176 名
- ✔ 特別研修（交流プラザさいわい R5.10） 参加者数計 21 名
- ✔ イベントブース出展：２回 （食べるたいせつフェスティバル 2023 R6.2、第 52 回 くしろ消費者まつり R6.2）
  参加者：175 名

○ 脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイル転換促進事業【経済部】

・ 道内の中小・小規模事業者 に対して、具体的な取組方法の例示や人材育成等を総合的に支援するため、セミナーの開催、企業向け研修資料を作成するとともに、取組事例集を作成。

- ✔ 脱炭素型ビジネススタイル転換促進連続セミナー：６箇所＋web
- ✔ 企業向け研修資料の作成

- ✔ 取組事例集の作成
- ✔ 事業者の取組紹介記事の作成

○ ゼロカーボン北海道実現のための胆振アクション-2023-【胆振総合振興局】

・ ゼロカーボン北海道に対する理解促進と機運醸成を図るため、ＴＥＡＭ「ゼロカーボンいぶり」を活用した意識啓発事業を実施。

- ✔ 胆振管内の小学校を対象に、炭素行動促進アプリの実証試験を実施（R6.1.22～2.16）（対象：胆振管内の小学校 14 校のうち 5，6 年生　約 630 名）
- ✔ 被災木物産展の開催（厚真町　R5.5、札幌市 R6.2）
- ✔ 緑化・植樹イベントの開催（厚真町　R5.10）参加人数：42 名
- ✔ 企業等による森林再生サポート（バスツアー）（厚真町　R5.11）参加人数：19 名
- ✔ 林業現場体験バスツアー（胆振管内高校 5 校）R5.9～10　参加人数 82 名
- ✔ 林業出前講座（鵡川高校）R5.7　参加人数：36 名
- ✔ 林業就業 PR パンフレット配布（胆振管内高校）
- ✔ 林業事業体育成セミナー（苫小牧市　R6.2）参加人数：17 名

◆ 省エネルギー設備の導入とエネルギー利用の効率化

○ 省エネルギー促進総合支援事業【経済部】

［省エネルギー設備導入支援事業］

・ 高い波及効果が期待される省エネルギー設備を導入するモデル的・先駆的な取組を支援。

- ✔ 全施設の LED 設置事業（(株）ベナレス：釧路市）
- ✔ サンマルコ食品津別工場 A 棟及び B 棟の LED 化事業（サンマルコ食品(株)：津別町）
- ✔ 体育館高天井及び施設内 LED 機器導入事業（(株)チュプチニカ：由仁町）
- ✔ LED 照明設備改修工事（南華園・嵯峨野省エネコンソーシアム：札幌市）
- ✔ LED 設備改修工事（北海道ペスカ㈱・マルスイ小樽マリン㈱省エネ化コンソーシアム：札幌市・小樽市）
- ✔ アウディ拠点への省エネルギー設備面的導入事業（(株）MID ALFA：札幌市）
- ✔ 道路舗装省エネ化推進事業（道路舗装省エネ化推進事業コンソーシアム：札幌市・千歳市・小平町・妹背牛町・釧路市）
- ✔ 社会福祉法人真宗協会 帯広至心寮・光輪一般照明ＬＥＤ更新工事事業（(福）真宗協会：帯広市）
- ✔ 琴似商店街ロードヒーティング省エネルギー化事業（琴似商店街振興組合：札幌市）
- ✔ 冷凍施設及び事務所の大規模省エネ設備化計画（ヤマキタ北海道水産㈱：小樽市）
- ✔ 暖房設備及び高圧設備更新によるエネルギー効率向上事業（(有）丸セ 廣瀬商店：枝幸町）
- ✔ 標津忠類冷凍庫における省エネルギー設備の導入（標津忠類冷凍庫コンソーシアム：標津町）
- ✔ 省エネ機器更新工事（かめはた省エネ化コンソーシアム：札幌市）

○ 食品産業エネルギー利用効率向上支援事業【経済部】

・ 食産業分野において、エネルギーの利用効率向上に資する食品ロス削減を図るため、食品工場等における食品ロス削減等の取組実態や課題等を調査するとともに、研修を実施。

- ✔ 研修会：６回（函館市・網走市・苫小牧市・帯広市 R6.1、札幌市・旭川市 R6.2）参加者：100 名
- ✔ 報告書の配付

・ 令和４年度よりゼロカーボン北海道に貢献する工夫を行う道産食品等の表彰を実施。

- ✔ 食絶景北海道×ゼロカーボンアワード 2024：大賞１品、優秀賞２品、奨励賞２品

○ 省エネ・新エネ促進・関連産業振興ワンストップ窓口【経済部、各（総合）振興局】

・　道総研と連携して市町村や企業等に対し、ワンストップで総合的なアドバイスを実施。
　✔　相談件数：44 件

○　きた住まいる推進事業【建設部】

・　北海道の気候風土に根ざした質の高い住宅である「北方型住宅」と、これをはじめとする良質な住宅を道民が安心して取得できる仕組み（「きた住まいる制度」）の普及を進めるため、以下の取組を実施。
　✔　事業の普及推進を目的とした有識者や関係団体等による有識者会議：５回
　✔　住宅関連事業者を対象とした技術講習会：１回

○　IT 企業競争力強化促進事業【経済部】

・　道内 IT 企業と地域の事業者とのマッチング事例を創出し、道内事業者のデジタル化を促進。
　✔　マッチングイベントの開催　参加企業：延べ 95 社（IT 企業 40 社、事業者等 55 社）
　　（旭川市 R5.10、帯広市 R5.12、札幌市 R6.1）
　✔　展示会　出展企業：２社（パシフィコ横浜、R5.11）

○　施設園芸生産基盤緊急支援事業【農政部】

・　施設園芸におけるエネルギー転換に向けた省エネ機器･設備や暑熱対応資材等の導入を支援。
　✔　60 市町村・622 経営体の事業計画を承認

○　宿泊業環境整備緊急対策事業【経済部】

・　宿泊事業者が取り組む省エネ設備導入や省力化設備導入を支援。
　✔　支援数：816 件

○　住まいのゼロカーボン化推進事業【建設部】

・　省エネ住宅の取得・改修等や集会場等の省エネ改修などを支援。
　✔　21 市町 33 事業（新築 3 市町、省エネ 17 市町、再エネ 13 市町）が当該事業を活用

◆　次世代自動車の積極的導入

○　水素社会推進事業【経済部】

・　北海道の豊富な再生可能エネルギーを活用した水素サプライチェーンを形成するため、道内各地域で水素・燃料電池や FCV 等を広く周知。
　✔　北海道水素イノベーション推進協議会を開催（R6.3）
　✔　防災総合訓練において FCV の外部給電器の接続を実施：３地域３カ所
　✔　イベントでのパネル展の実施や FCV 等水素普及啓発の実施：８地域８カ所

○　環境・エネルギー産業総合支援事業【経済部】

・　次世代自動車（EV,PHEV 等）の普及啓発のため、大型商業施設における展示会を開催。
　✔　HOKKAIDO エコカー展示会 in アカプラ（札幌市北 3 条広場「アカプラ」、R5.10.8）
　　来場者数：601 名
・　動画配信や雑誌を活用し、EV や PHEV を使用した日帰り旅行や急速充電施設の利用方法、非常用電源としての活用方法等を紹介。
　✓　北海道情報誌 Ho 11 月号掲載：「話題の Ho～な PHEV で出発 in 空知」

○　自動運転車開発拠点化促進事業【経済部】

・　自動運転を核とした実証試験の活性化、研究開発拠点の新増設による集積など、環境・エネルギー関連産業の一層の振興に向け、自動運転サービスモデル創出に向けた情報提供を実施。
　✔　名古屋オートモーティブワールドへの出展　来場者数 26,606 人、相談件数 189 件（愛知

県、R5.10.25～27）
✔ 先進地視察　参加企業等3社（広島県、R6.1.25～26）

○ 次世代型交通推進事業【総合政策部】

・ ＥＶバスの性能等運行によるデータ等の収集・検証等を実施するとともに、バス事業者や自治体等対象とした試乗会を実施。
✔ 実証運行・試乗会の実施（R6.1）　試乗会参加者数　57名

◆ 道による省エネルギーの率先実施

○ 省エネルギー等率先導入推進事業　ほか

① 高等技術専門学院【経済部】
・ 実習用機械を省電力タイプに入れ替えるとともに、学院見学会等で地域の関連業界に広く公開し、省エネルギーの取組の普及・啓発を実施。
✔ 函館高等技術専門学院　パーソナルコンピュータ（ノート型）：４台
パーソナルコンピュータ（タブレット型）：34台

② 地域食品加工技術センター【経済部】
・ 試験研究機器を省電力タイプに入れ替えるとともに、機器利用等を通じて、エネルギー消費の多い食品製造業における省エネルギーの取組の普及啓発を実施。
✔ 超低温フリーザほか：６台

③ 道立工業技術センター【経済部】
・ 試験研究機器を省電力タイプに入れ替えるとともに、見学会や機器利用等で地域の関連業界に広く公開し、省エネルギーの取組の普及啓発を実施。
✔ カルボン酸分析計ほか：８台

④ 道立診療所【保健福祉部】
・ 全自動血球計数器の入れ替えを実施。
✔ 鬼脇診療所

⑤ 道立高校【教育庁】
・ 老朽化した照明器具を高効率の照明器具に入れ替えを実施。
✔ 北広島高等学校

⑥ 信号灯器のLED化【道警本部】
・ 交通信号灯器のＬＥＤ化により環境配慮型設備の整備を図り、省エネルギーに向けた取組を実施。
✔ 苫小牧市内設置信号灯器ほか：10箇所

⑦ 道立栽培漁業センター【水産林務部】
・ 海水取水ポンプを高効率タイプに入れ替えるとともに、当該ポンプを可変速制御するためVVVFインバータ制御装置を導入するなど、施設の省エネ化を推進。
✔ 北海道栽培漁業羽幌センター

○ 道の率先行動推進事業【経済部】

・ 道の事務・事業の実施に当たり、地球温暖化対策推進法に基づく「第５期 道の事務・事業に関する実行計画」により、省資源、省エネルギーの推進など、環境に配慮した取組を実施。
✔ ボイラー・空調設備の高効率化
✔ エレベーターの運行の最適化
✔ 昼休みの消灯、退庁時のコンセントオフ、ナチュラル・ビズ・スタイル（省エネ・節電を意識した働きやすい服装）やノーカーデー、ゼロカーボン北海道チャレンジ等の実践を、庁内放送や掲示により職員に向け呼びかけ

○ 道立学校施設整備事業【教育庁】

・　道立学校において照明設備の LED 化を行い、省エネルギー化を実施。
　✔　着手 15 校、着工 11 校

○　空港脱炭素化推進計画策定事業【総合政策部】

▪　空港における脱炭素化を推進することを目的に、道管理空港（女満別、紋別、中標津、奥尻、利尻）において空港脱炭素化推進協議会を設置し、「空港脱炭素化推進計画」を策定するため、空港施設・空港車両等からの温室効果ガス排出量の削減や、空港への再生可能エネルギー導入を促進するための取組等について検討を実施。

○　空港公共事業費（LED 灯火導入）、空港単独事業費【総合政策部】

・　道管理空港において、脱炭素化を目的とした航空灯火の LED 化を推進。
　✔　中標津空港の LED 灯火導入に向けた基本計画策定
　✔　利尻空港の LED 灯火導入に向けた設計
　✔　女満別空港の LED 灯火導入に向けた設計
　✔　紋別空港において LED 灯火導入工事の実施
　✔　紋別空港において LED 灯火導入工事に合わせた保守品を整備

（２）新エネルギーの開発・導入に係る「３つの挑戦」

【挑戦１】多様な地産地消の展開

◆　地域の特性を活かした分散型エネルギーシステムの構築・展開

◆　徹底した省エネルギーとエネルギーマネジメントシステムの導入

○　ゼロカーボン地域プロジェクト支援事業【経済部】

［ゼロカーボン・モビリティ導入支援事業］

・　新エネルギーによる発電設備と電気自動車や定置型蓄電池を組み合わせて、余剰電力の蓄電や蓄電池からの電力供給を行うエネルギー自立型施設（V2X）の構築を支援。
　✔　厚真町ゼロカーボン・モビリティ事業（厚真町）
　✔　士幌町ゼロカーボン・モビリティ導入事業（士幌町）

［ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業（計画等作成事業）］

・　地域と企業等が連携した需給一体型エネルギーシステムを構築するための詳細設計・工事を進める上で根幹となる計画の策定、計画策定のための調査や検討会開催等を支援。
　✔　当麻町ゼロカーボン・ビレッジ構築計画等作成事業（当麻町）
　✔　伊達市ゼロカーボン・ビレッジ構築計画等作成事業（伊達市）
　✔　今金町ゼロカーボン・ビレッジ構築計画等作成事業（今金町）
　✔　安平町マイクログリッド構築に向けた基礎調査（安平町）

［ゼロカーボン・ビレッジ構築支援事業（構築事業）］

・　地域と企業等が連携した需給一体型エネルギーシステムを構築するための設備導入や実施設計を支援。
　✔　秩父別町地域マイクログリッド構築事業（秩父別町）
　✔　一の橋地区地域熱供給システム面的拡大事業（下川町）
　✔　釧路町運動公園エリアにおける再エネ面的供給事業（釧路町スマートシティコンソーシアム：スマートソーラー（株）、釧路町）

［ゼロカーボン・イノベーション導入支援事業］

・　新エネルギー資源を活用した実用化目前の先端技術等を地域の特性に合わせて仕様や能力を最適化し、新エネルギーの製造から貯蔵・輸送・利活用までのサプライチェーンの構築等を支援。
　✔　そば殻を主体としたバイオマス原料からの低コストバイオコークス製造実証事業（幌加内町バイオマス有効活用コンソーシアム：きたそらち農業協同組合、エア・ウォーター（株）、

JFE 条鋼（株）、巴商会（株）、幌加内町）

✔ 興部カーボンニュートラルイノベーション事業（興部カーボンニュートラルイノベーションコンソーシアム：岩田地崎建設（株）、大阪大学（大）、MORESCO（株）、興部町）

○ 新エネルギー導入促進支援事業【経済部】

［新エネルギーコーディネート支援］

・ 地域新エネルギー導入コーディネーターを配置し、新エネ導入の検討段階にある市町村等への派遣により、事業の掘り起こしから事業・収支計画の策定、実施までを支援。

✔ コーディネーターを 35 市町村へ派遣し支援

✔ 取組の掘り起こし 50 市町村実施

［エネルギー地産地消セミナー］

・ 地域マイクログリッドに加えて、「畜産バイオマス」、「中小水力・地中熱」、「木質バイオマス」、「太陽光」の新エネルギーにおける最新の動向や取組事例を紹介。

✔ ４回 ：函館市（R5.8）、旭川市・帯広市・札幌市（R5.9）

○ 新エネルギー設備等導入支援事業【経済部】

［新エネルギー設計支援］

・ 地域が主体となって行う新エネルギー設備の設計を支援

✔ 稚内市新庁舎建設における地中熱設備導入調査事業（稚内市）

✔ 厚岸町温水プールへの木質バイオマスボイラー設置に向けた実施設計事業（厚岸町）

✔ （仮称）児童センター等一元化施設新設工事地中熱利用設備導入調査事業（歌志内市）

✔ 排雪利用型雪氷冷熱エネルギー活用システム導入設計事業（雪冷房コンソーシアム：夕張市）

✔ 公共施設への自家消費型太陽光発電の設備導入に向けた調査及び基本設計（富良野市）

✔ 町立知内高等学校木質バイオマスボイラー導入工事実施設計事業（知内町）

［新エネルギー設備導入支援］

・ 地域が主体となって行う新エネルギー設備の導入を支援

✔ ニセコミライにおける太陽光自家消費システムの導入（ニセコミライコンソーシアム：ニセコ町）

✔ 当別町認定こども園おとぎのくに地中熱設備導入事業(当別町地中熱利用コンソーシアム:当別町）

✔ 弟子屈小学校温泉暖房導入工事（弟子屈町）

✔ 弟子屈町立川湯保育園新築工事～地中熱設備工事～（弟子屈町）

✔ あばしり電力株式会社　太陽光発電所設置事業（あばしり新エネルギー設備導入推進コンソーシアム：網走市）

✔ 新たな吉岡温泉木質バイオマスボイラー導入事業（福島町）

✔ 鶴居村立鶴居中学校地中熱設備導入事業（鶴居村）

✔ フェーズフリー性を展望したホテルへの太陽光発電システム設置計画（(株) 北陽インターナショナル：千歳市）

✔ 苫小牧市公共施設オンサイト PPA 事業（(株)エネコープ：苫小牧市）

［地熱井掘削支援］

・ 地域が主体となって行う小規模地熱発電や熱利用での活用を目的とする地熱井の掘削を支援

✔ 地域脱炭素化向上及び地熱エネルギー利用型地域産業復興事業（羅臼町）

○ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞（新エネルギー部門）【経済部】

・ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例に基づき、省エネルギーの促進と新エネルギーの開発・導入の促進に顕著な功績のあった個人・法人等を対象に、表彰を実施。

✔ 大賞「潮見地区におけるマイクログリッド構築による再生可能エネルギーの効率的利用」（あばしり電力㈱：網走市）

✔ 奨励賞「炭素粉末と複合樹脂材料を用いた新規プレス製法による FCV 向け燃料電池セパ

レータの開発」(㈱FJ コンポジット：千歳市)

○　地域脱炭素専門人材育成支援事業【経済部】

・　市町村の脱炭素化を促進するため、市町村職員を対象とした研修を実施。

✔　総論勉強会　　１回（R5.10）　参加市町村：12 市町村

✔　現地視察研修（太陽光、ZEB/ZEH、J-クレジット）

✔　意見交換会　　１回

○　北の住まいるタウン推進事業【建設部】

・　北海道の優位性を活かし、地域特性に応じて、誰もが心豊かに住み続けることができ、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち「北の住まいるタウン」の推進を図るため、以下の取組を実施。

✔　「北の住まいるタウン」の普及啓発のためのパネル展（R5.9）来場者：307 名

✔　「北の住まいるタウン」の普及啓発のためのパネル展 in　チ・カ・ホ

(R5.9)来場者:440 名

✔　事例見学ツアー（北広島市 R5.8）参加者：29 名

✔　まちづくりセミナー（オンライン R5.9）参加人数：51 名

✔　まちづくりメイヤーズフォーラム（オンライン併用 R5.10）参加者：337 名

✔　まちづくり交流会（オンライン R6.2）参加人数：21 名

✔　「『北の住まいるタウン』実践ガイドブック」(WEB 版)の更新

○　地域新エネルギー導入アドバイザー制度【企業局】

・　電気や工業用水の事業運営で蓄積してきた知識や経験をもとに、小水力発電導入候補地点の現地調査や可能性検討及び提案など、技術や経営に関するアドバイスを実施。

✔　10 件(４市５町１村)

・　「小水力発電導入に関する現地研修会」を実施（オンライン併用開催)。

✔　参加者：28 名(12 市町村 17 名、知事部局８名)

○　省エネ・新エネ促進・関連産業振興ワンストップ窓口【経済部、各（総合）振興局】(再掲⇒P4)

✔　相談件数：44 件

○　ゼロカーボン北海道推進協議会「省エネルギー・新エネルギー促進部会」【経済部】(再掲⇒P3)

✔　促進部会の開催（R6.2）

✔　令和５年度検討テーマ：カーボンニュートラルに向けた取組等について

○　地域省エネルギー・新エネルギー導入推進会議【経済部、各（総合）振興局】

・　市町村担当者、地元金融機関（必要に応じ企業、団体などの担当者）及び道関係部局による情報共有のため、導入推進会議を開催。(R5.10.6・オンライン開催)

✔　令和５年度テーマ:「ゼロカーボン北海道推進会議」として、ゼロカーボン北海道の実現に向けた、ゼロカーボン推進局等の取組や関連施策について情報提供、意見交換

○　「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクション－2023－【胆振総合振興局】

・　「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、胆振管内の企業、自治体、大学などと連携しながら、理解促進・機運醸成の取組を実施。

✔　TEAM「ゼロカーボンいぶり」セミナー（伊達市　R6.3）　参加者：約 150 名

✔　FM ラジオや SNS による情報発信　FM ラジオ：12 回　SNS：67 回

◆　需要家それぞれによる新エネルギーの活用

◆ 新エネルギーを活用した熱利用の推進

○ 新エネルギー導入促進支援事業【経済部】（再掲⇒P8）

○ 新エネルギー設備等導入支援事業【経済部】（再掲⇒P8）

○ 地域新エネルギー導入調査総合支援事業【経済部】

［地域新エネルギー導入加速化調査支援事業］

・ 地域が行う新エネルギー導入のための事業可能性調査や実証実験を支援。

- ✔ ニセコ町再生可能エネルギー電気導入基礎調査事業（ニセコ町）
- ✔ 京極温泉新エネルギー設備導入調査事業（京極町）
- ✔ 新十津川町新エネルギー事業化可能性調査事業（新十津川町）

［地熱資源利用促進事業］

・ 地域が行う地熱発電や温泉熱利用を目的とした地熱井等の調査を支援。

- ✔ 平田内泉源井戸内部水脈調査事業（八雲町）

［地熱･温泉熱アドバイザーの派遣］

・ 専門家を地域に派遣し、技術的・専門的な指導や助言等を実施。

- ✔ 派遣先：５市町村（泊村、八雲町、奥尻町、登別市、北見市）

○ 木質バイオマスゼロカーボン推進事業【水産林務部】

・ 木質バイオマスボイラーの導入支援や林地未利用材の効率的な集荷に向けた技術研修を実施し、木質バイオマスのエネルギー利用を促進。

- ✔ 木質バイオマスボイラーの導入を検討する自治体等へアドバイザーを派遣
  （倶知安町、上士幌町、京極町、津別町、北海道電力(株)、足寄町、浜頓別町）
- ✔ 林業事業体等を対象にした林地未利用材集荷・搬出技術セミナー
  （釧路市・北見市・函館市 R5.11）参加者：81 名（会場 41 名・オンライン 40 名）
- ✔ 市町村等を対象にした木質バイオマスボイラー導入セミナー
  （留萌市・上川町 R5.10、小樽市 R5.11）参加者：45 名（会場 29 名・オンライン 16 名）

○ バイオマス利活用推進事業【経済部】

・ バイオマス利活用の推進に向けた道民や事業者等の機運醸成を図るため、フォーラムを開催。

- ✔ バイオマスネットワークフォーラム（札幌市 R6.3）参加人数：111 名

○ 地域バイオマス利活用促進事業【農政部】

・ バイオマスを活用したグリーン社会の実現に向けて、バイオマス利活用の高度化に必要な事業化の推進や効果促進対策及び施設整備を支援。

- ✔ バイオマス地産地消施設の整備（湧別町、豊頃町、中札内村）

○ 林業・木材産業構造改革事業【水産林務部】

・ 木材の生産から流通･加工に至る総合的な国産材の供給体制を形成するため、公共施設の木造・木質化や木質バイオマスの供給・利用施設の整備等に対して総合的に支援。

- ✔ 木質バイオマス供給施設の導入（帯広市）
- ✔ 移動式チッパーの導入（当別町、むかわ町）

○ 太陽光発電及び蓄電池システム共同購入事業【経済部】

・ 家庭部門等を対象に道と協定を締結した事業者が事務局となり、太陽光発電システム及び蓄電池の購入希望者を広く募り、共同購入によるスケールメリットを活かした効果的な再エネの利用拡大を促進。

- ✔ 対象地域：さっぽろ連携中枢都市圏 12 市町村、胆振管内 11 市町
- ✔ 参加登録：865 件

○ SOYA 新エネ・ゼロカーボンプロジェクト【宗谷総合振興局】

・ 管内の新エネルギーの導入やゼロカーボンの推進、未利用エネルギーの有効活用など、地域エネルギーの地産地消の取組に関して、小中高生が理解を深めることを目的とした見学バスツアーを開催。

✔ 新エネ関連施設（３箇所）見学バスツアー（宗谷管内 R5.9） 参加人数：30 名

○ 十勝ゼロカーボン推進事業【十勝総合振興局】（再掲⇒P3）

[再生可能エネルギー利活用促進事業]

・ 十勝の優位性を発揮するバイオマスや大型太陽光発電、次世代自動車等についての普及啓発とエネルギー消費量の大きい事業者への人材育成支援を実施。

✔ 十勝次世代自動車研究会の運営（R5.5、R6.3）
✔ 親子で学ぼう！再生可能エネルギー教室（帯広市 R5.7）参加人数 60 名
✔ 大規模需要家におけるカーボンニュートラル推進人材育成のための専門家派遣（R5.11）派遣先数：２社
✔ 民間事業者向け脱炭素ミニセミナー（帯広市 R5.5）来場者数：27 名
✔ 「食×デジタル×ゼロカーボン」十勝型脱炭素経営モデル推進事業：参加人数 9 名

[オール十勝・森と木のゼロカーボン普及啓発事業]

・ 豊富な森林資源や木育活動の輪を活かし、木質バイオマスなどの利用促進イベントと道有林での植樹体験を実施。

✔ 木の暖房フェスタ（帯広市 R5.8）
✔ オール十勝・森と木のゼロカーボン植樹祭（豊頃町 R5.9）参加者：70 名
✔ 暖房用木質バイオマス向け道有林材の販売(R5.10）：工事支障木 40 ㎥ 参加社１社

◆ 「エネルギーの地産地消」を支える技術や制度の普及

○ （地独）北海道立総合研究機構における新エネルギー関係の研究開発と技術支援【総合政策部】

・ 地域におけるエネルギー地産地消の取組を促進するため、新エネルギーを有効に利活用できる技術、システムなどの研究開発を行うとともに、研究成果や専門的な知見を生かした指導助言、相談対応などの技術支援を実施。

[研究テーマ]

✔ 地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装(産業技術環境、建築、森林研究本部）
✔ 未利用農業用廃プラスチックの地域内燃料利用モデルの構築（産業技術環境研究本部）
✔ 屈斜路カルデラにおける地熱資源に関する研究～次世代型地熱発電を見据えた地熱開発可能性の検討～（産業技術環境研究本部）
✔ 温泉に付随する可燃性天然ガスの活用に向けた情報基盤の構築（産業技術環境研究本部）
✔ 温泉付随ガスの活用に向けた､小型ポータブル発電機利用のためのガス供給条件の検討(産業技術環境研究本部）
✔ 地熱・温泉資源の開発・利活用促進にむけた「技術支援ツール」の開発～北海道南西部をモデル地域にして～（産業技術環境研究本部）
✔ 蓄熱池を用いた季節間蓄熱システムに関する基礎研究（産業技術環境研究本部）
✔ 農林残渣を利用した粗砕燃料の燃焼特性に関する基礎的研究Ⅱ（産業技術環境研究本部）

◆ 道の新エネルギーの率先導入

○ 道有施設の新エネ導入・省エネ加速化事業

① ＥＶの導入等【経済部】

・　公用車の次世代自動車化に向けたＥＶ車と太陽光発電設備の導入を実施。
　✔　**電気自動車及び太陽光パネル付カーポートの導入（上川総合振興局、留萌振興局、オホーツク総合振興局、十勝総合振興局：各２台・5.9kW）**
　✔　**充放電設備（V2B）の併設（上川総合振興局、留萌振興局、オホーツク総合振興局、十勝総合振興局）**

②　太陽光パネルの設置等【経済部】
・　道有施設を対象に、太陽光発電システム（野立て）の導入可能性を把握し、今後の事業実施の基礎データとするための調査を実施。
　✔　**太陽光発電設備導入可能性調査（野立て）　対象：30 施設**

③　北海道消防学校【総務部】
・　公共施設における ZEB 化推進のモデルとして北海道消防学校の改築を ZEB として整備。
　✔　**太陽光パネル　発電出力：64kW**
　✔　**高断熱化　　CO_2 削減量：134.9t／年**

④　北海道動物愛護センター【環境生活部】
・　高気密・高断熱であり、太陽光発電、蓄電システムにより二酸化炭素の排出を抑え、停電等緊急時にはエネルギーを自立的に供給できる「ハウスユニット」を複数連結させ整備。
　✔　**太陽光パネル　発電出力：23.8kW**
　✔　**太陽光パネルを含めた省 CO_2 設備導入による CO_2 削減量：15.5t／年**

⑤　室蘭建設管理部苫小牧出張所【建設部】
・　モデル的な ZEB の整備
　✔　**太陽光パネル　発電出力：24kW**
　　高断熱化　　CO_2 削減量：72.8t-CO_2／年
　　ZEB Ready の認証を取得
　　国の基準から 65%のエネルギー消費量を削減

⑥　深川警察署【警察本部】
・　モデル的な ZEB の整備
　✔　**太陽光パネル　発電出力：11 kW**
　✔　**高断熱化、照明自動制御化等　CO2 排出量約 57%削減**

○　企業局における可能性調査【企業局】
・　水力や地熱などの電源開発の可能性について、調査・検討を実施。
　✔　**可能性調査委託：３件**

【挑戦２】「エネルギー基地北海道」の確立に向けた事業環境整備

◆　洋上風力発電をはじめとする大規模新エネルギーの開発・導入に向けた環境の整備

○　洋上風力発電導入加速化推進事業【経済部】
・　再エネ海域利用法に基づく促進区域指定（有望区域選定）に向け、地元で進められている合意形成を支援するために住民説明会等を開催したほか、洋上風力発電に係る冊子の作成や、理解促進を図るセミナーを開催。
　✔　**地域住民向け勉強会･意見交換会　　島牧村（R5.12）、せたな町、奥尻町、江差町（R6.1）、蘭越町、島牧村、松前町（R6.2）**
　✔　**セミナー　　札幌市・オンライン同時配信（R6.1）**

○　洋上風力発電サプライチェーン構築・人材確保育成支援事業【経済部】
・　洋上風力発電に係る地域でのサプライチェーン構築に向け、関連事業への道内企業の参入促進のための参入可能な事業分野の把握や情報発信を行うとともに、今後必要とされる建設工事・メ

ンテナンス等に係る技能人材の育成を進めるための出前授業等を実施。

- ✔ 洋上風力発電関連事業セミナー　札幌市・オンライン同時配信（R5.10）
- ✔ 出前授業　苫小牧工業高等専門学校で実施（参加者：26 名）（R6.1）
- ✔ 教員向けセミナー　オンライン実施（参加者：75 名）（R6.2）

○ 「ゼロカーボンひやま」ステップアッププロジェクト【檜山振興局】（再掲⇒P3）

・ 檜山管内における洋上風力発電の風車設置及びメンテナンス業務等について管内町などの関係者を対象に勉強会を開催。（R6.1）

◆ 送電インフラ整備などの国への働きかけ

○ 国への要望

・ 国に対し、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた電力基盤の増強、洋上風力発電の早期導入に向けた環境整備、地域との関わりが深い再エネの導入促進、地域の実情に応じた固定価格買取制度の運用などについて要望。

- ✔ 令和６年度（2024 年度）国の施策及び予算に関する提案・要望（R5.6）
- ✔ 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けた要望（R5.7、11）

◆ 水素の有効活用に向けた基盤整備

○ 水素サプライチェーン構築促進事業【経済部】

・ 道内の水素関連産業の基礎形成の促進を図るため、水素サプライチェーンプロジェクト構築や道内企業の水素ビジネス参入に向けた取組を推進。

- ✔ 国等の FS 採択や実証誘致を目指す水素等プロジェクトへの計画策定支援：１件
- ✔ 道内の水素等ポテンシャル調査プロジェクトへの計画策定支援：２件
- ✔ 水素関連ビジネスをテーマにした地域勉強会開催（６圏域各１回）

○ 水素社会推進事業【経済部】（再掲⇒P5）

- ✔ 北海道水素イノベーション推進協議会を開催（R6.3）
- ✔ 防災総合訓練において FCV の外部給電器の接続を実施：３地域３箇所
- ✔ イベントでのパネル展の実施や FCV 等水素普及啓発の実施：８地域８箇所

○ 「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクション－2023－【胆振総合振興局】（再掲⇒P9）

・ 「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、胆振管内の企業、自治体、大学などと連携しながら、理解促進・機運醸成、水素の利活用促進の取組を実施。

- ✔ TEAM「ゼロカーボンいぶり」セミナー（伊達市　R6.3)参加者：約 150 名
- ✔ FM ラジオや SNS による情報発信　FM ラジオ：12 回　SNS：67 回
- ✔ 水素関連施設の視察（室蘭市　R6.3）参加者：17 名

◆ 新たな技術の開発・活用

○ カーボンニュートラルファーストステップ支援事業【経済部】

・ 道内各地域の様々な業種の企業等に対し、令和 4 年度に作成したモデルプランを活用し、取組可能で効果的な CN 化プランの作成を支援する。

- ✔ 先導モデルとなる道内企業の CN 化プランを作成・公開：15 社

○ （地独）北海道立総合研究機構における省エネ・新エネ関係の研究開発と技術支援【総合政策部】

・ 省エネルギー・新エネルギーに関連する技術、システムなどの研究開発を行うとともに、研究成果や専門的な知見を生かした指導助言、相談対応などの技術支援を実施。

［省エネルギー関係研究テーマ］

- ✔ 地域特性に応じた再生可能エネルギー供給と省エネルギー技術の社会実装(産業技術環境、建築、森林研究本部)（再掲⇒P11）
- ✔ 自己熱再生による省エネルギーシステムの北海道内における実用化に向けた研究（産業技術環境研究本部）
- ✔ 屈斜路カルデラにおける地熱資源に関する研究～次世代型地熱発電を見据えた地熱開発可能性の検討～（産業技術環境研究本部）（再掲⇒P11）
- ✔ 蓄熱池を用いた季節間蓄熱システムに関する基礎研究（産業技術環境研究本部）（再掲⇒P11）
- ✔ 蒸発・凝縮を伴う噴流の理論と実験による状態把握（産業技術環境研究本部）
- ✔ 農林残渣を利用した粗砕燃料の燃焼特性に関する基礎的研究Ⅱ（産業技術環境研究本部）（再掲⇒P11）
- ✔ 熱源機器の効率的な運用に向けた部分負荷効率の測定法の開発（建築研究本部）
- ✔ 北海道における太陽光発電による住宅のエネルギー自給率向上に関する研究（建築研究本部）

【挑戦３】省エネルギーの促進や新エネルギーの開発・導入と一体となった環境関連産業の振興

◆ 道内企業の参入に向けた関連市場の拡大

○ 環境・エネルギー産業総合支援事業【経済部】（再掲⇒P5）

・ 道内企業の環境・エネルギー分野への参入促進を図るため、道内４圏域で勉強会を実施したほか、ビジネスセミナー開催。

- ✔ 釧路（R5.11）、道北（R5.12）、道南（R6.1）、十勝（R6.2）
- ✔ ビジネスエキスポ内企業セミナー「環境・エネルギー産業が拓く北海道の未来」（R5.11）

・ 道外で開催される展示会に北海道ブースを出展し、道内企業の優れた技術や製品を道内外に広く PR。

- ✔ SMART ENERGY WEEK/第３回脱炭素経営 EXPO
  大阪府内（R5.11.15～17） 出展道内企業：６社 来場者数：2,136 名
- ✔ ENEX2024 東京都内（R6.1.21～2.2） 出展道内企業：13 社 来場者数：4,332 名

◆ 環境関連産業への国内外からの投資の促進と道内企業の参入

○ 企業立地促進費補助金【経済部】

・ 北海道産業振興条例に基づく助成措置において、成長産業分野の対象業種として新エネルギー供給業（風力やバイオマス等をエネルギー源とした発電事業）に対し補助金を交付

- ✔ 交付先：２件

○ 環境負荷低減型産業集積・人材育成事業【経済部】

・ 企業誘致セミナーの開催や展示会への出展、グリーン・デジタルやビジネス分野に精通する専門家による企業訪問などにより、本道の立地優位性を活かした誘致活動を実施。

- ✔ 誘致セミナー：３回（東京都 R5.10、大阪市 R6.2、名古屋市 R6.2）
- ✔ 展示会出展：メッセナゴヤ(名古屋市 R5.11)、スマートエネルギーWeek（東京都 R5.3）

○ データセンター集積推進事業【経済部】

・　データセンター立地適地としての北海道を PR する北海道データセンターセミナーを道外で開催
　✔　東京都（R6.2）　参加人数：276 名

○　中小企業総合振興資金貸付金【経済部】

・　北海道の制度融資である中小企業総合振興資金に、省エネ・新エネ、環境負荷の低減を図る施設等の導入や省エネ・新エネ、環境産業に係る新技術等の事業化などを対象とした融資メニューのほか、ゼロカーボン・チャレンジャーに登録した中小企業者等を対象とした融資メニューを設定。
　✔　ライフステージ対応資金「ステップアップ貸付【政策サポート】（環境・エネルギー）」
　✔　ライフステージ対応資金「ステップアップ貸付【ゼロカーボン】」

◆　技術・製品開発、販路開拓・拡大の推進

○　環境・エネルギー産業総合支援事業【経済部】（再掲⇒P5、14）

［出展支援］（再掲⇒P14）

［技術・製品開発支援］

・　省エネや新エネに関する製品・技術の開発や改良、実証試験及び販路拡大のための市場調査、展示会への出展等の取組を支援。
　✔　廃油（動物油・植物油）等利用ゼロカーボン型燃焼機器の開発（一般社団法人北海道エコ普及環づくり協会：札幌市）
　✔　北海道向け寒冷地対応化に向けた蓄電システム改良事業（株式会社アクトシステムズ：函館市）

○　ものづくり産業におけるグリーン・デジタル推進事業【経済部】

・　道内ものづくり産業の生産性向上及び競争力強化のため、脱炭素・DX を推進するセミナー等を開催するとともに、アドバイザーによる技術指導や展示会の開催などにより次世代自動車等の環境配慮型産業への販路拡大、人材育成等への取組を支援。
　✔　セミナー・相談会（札幌市 R5.7、11）セミナー参加者：145 名、相談企業：7 社
　✔　マッチング会（道央圏、道北圏、道南圏、十勝圏 R5.7～R6.2）
　✔　専門家派遣：16 社
　✔　合同展示会（愛知県 R6.1）

○　中小企業競争力強化促進事業【経済部】

・　道内中小企業等が、ＤＸやゼロカーボン等の新たな社会経済情勢の変化に対応するため、マーケティング支援やコンサルタント等招へい、人材育成・確保や商品開発など競争力強化に向けた取組を支援。
　✔　マーケティング支援　採択 8 件、補助額 7,674 千円
　✔　コンサルタント等招へい支援　採択 1 件、補助額 1,000 千円
　✔　産業人材育成・確保支援　採択 4 件、補助額 530 千円
　✔　市場対応型製品開発支援　採択 8 件、補助額 22,494 千円

省エネルギーの取組状況

区分		H29年度（2017）実績	H30年度（2018）実績	R1年度（2019）実績	R2年度（2020）実績	R3年度（2021）実績 a	対前年	R12年度（2030）目標 b	達成率 b/a
産業部門	(農業粗生産額＋漁獲高＋製造品出荷額)当たり産業部門エネルギー消費量(2015年基準:実質値) 単位:GJ/百万円	41.4	38.6	33.0	30.4	29.2	−1.2	29.6	101.3%
家庭部門	人口1人当たり家庭部門エネルギー消費量 単位:GJ/人	28.4	26.6	28.7	25.4	25.7	0.3	23.0	89.5%
業務部門	業務床面積1㎡当たり業務部門エネルギー消費量 単位:GJ/㎡	2.5	2.6	2.5	2.3	2.5	0.2	2.1	83.7%
運輸部門	自動車保有台数1台当たり運輸部門エネルギー消費量 単位:GJ/台	57.3	56.6	55.9	47.5	48.8	1.3	42.6	87.3%

※直近の公表資料(都道府県別エネルギー消費統計、道民経済計算等)により算出
※国の統計に変更があった場合は再算出

新エネルギーの導入状況

【発電分野】
設備容量(万kW)

区分	H30年度（2018）実績	R1年度（2019）実績	R2年度（2020）実績	R3年度（2021）実績	R4年度（2022）実績 a	対前年	R12年度（2030）目標 b	達成率 a/b
太陽光(非住宅)	136.7	173.1	191.5	199.8	202.0	2.1	269.5	74.9%
太陽光(住宅)	17.1	18.1	19.3	20.5	22.1	1.7	35.4	62.6%
陸上風力	44.3	50.5	54.8	59.4	84.0	24.6	184.6	45.5%
洋上風力	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	150.9	0.1%
中小水力	82.4	82.8	83.2	85.4	88.4	3.0	92.7	95.4%
バイオマス	12.8	13.8	14.1	25.2	40.0	14.8	55.8	71.7%
地熱	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	0.0	11.0	23.0%
廃棄物	24.1	24.2	24.1	24.1	24.1	−0.1	24.1	99.9%
合計	320.0	365.1	389.6	417.1	463.2	46.1	824.0	56.2%

※太陽光の非住宅は出力10kW以上、住宅は出力10kW未満のもの。

発電電力量(百万kWh)

区分	H30年度（2018）実績	R1年度（2019）実績	R2年度（2020）実績	R3年度（2021）実績	R4年度（2022）実績 a	対前年	R12年度（2030）目標 b	達成率 a/b
太陽光(非住宅)	1,608	2,096	2,474	2,809	2,863	54	3,140	91.2%
太陽光(住宅)	195	213	238	280	297	17	400	74.2%
陸上風力	1,001	1,019	1,609	1,310	1,671	361	4,188	39.9%
洋上風力	2	1	2	3	3	0	3,965	0.1%
中小水力	3,917	3,159	3,398	3,385	3,990	605	4,133	96.6%
バイオマス	731	813	821	1,621	1,712	91	2,811	60.9%
地熱	146	129	129	113	110	−3	629	17.5%
廃棄物	1,011	1,356	1,395	1,599	1,261	−338	1,189	106.1%
合計	8,611	8,786	10,065	11,120	11,907	787	20,455	58.2%

【熱利用分野】
熱量(TJ)

区分	H30年度（2018）実績	R1年度（2019）実績	R2年度（2020）実績	R3年度（2021）実績	R4年度（2022）実績 a	対前年	R12年度（2030）目標 b	達成率 a/b
バイオマス	4,150	4,242	4,235	4,517	4,341	−176	8,078	53.7%
地熱	2,443	2,431	2,565	2,613	2,595	−18	3,561	72.9%
雪氷冷熱	45	45	46	46	46	0	65	70.8%
温度差熱	2,198	2,326	2,445	3,083	3,349	266	2,692	124.4%
太陽熱	9	8	8	8	7	−1	9	77.8%
廃棄物	5,868	5,526	5,252	5,375	5,088	−287	6,555	77.6%
合計	14,713	14,578	14,551	15,642	15,426	−216	20,960	73.6%

◆ 北海道省エネルギー・新エネルギー促進行動計画【第Ⅲ期】補助指標の進捗状況

項目				実績 R4	実績 R5
部門別	産業・業務	省エネルギー法の定期報告に基づく事業者クラス分け評価Sクラスの割合		49.9%	41.8%
		ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の新築件数		8件	4件
	家庭	家庭用灯油の世帯当たり購入量		808ℓ	692ℓ
		省エネ基準を満たす住宅ストックの割合		24.1%	25.7%
	運輸	次世代自動車保有台数※		402,128台	–
		EV(電気自動車)、FCV(燃料電池自動車)の充電等インフラ設置数		784か所	845か所
	地域	新たに新エネルギー導入に取り組む市町村数※	公共施設への導入	12	–
			補助制度	0	–
			出資	2	–
			整備計画策定等への参画	1	–
		地域マイクログリッド構築に取り組む市町村数 (※経済産業省の補助金を活用し取組を進めている市町村)		5	5
基盤整備		洋上風力発電の導入実績 (「再エネ特措法に基づく認定量」)		0	1基
環境関連産業		道外展示会における道内企業の出展数、商談件数	出展数(WEBを含む)	38件	38件
			商談件数	73件	97件
その他		コージェネレーションシステム(エネファーム)の導入状況(販売台数)※		149台	–

※直近の公表数値による